

平成 29 年度野尻湖から関川等へのコクチバス・オオクチバス逸出確認調査

長野県内水面漁場管理委員会 事務局

1 目的

逸出防止措置が施されている野尻湖から池尻川、農業用水路及び関川へオオクチバス、コクチバスが逸出していないか確認する。

2 調査日

- (1) 第 1 回目 平成 29 年 8 月 24 日 (木) 調査地点：A～E
 (2) 第 2 回目 平成 29 年 10 月 16 日 (月) 調査地点：A～H

3 調査地点 (図 1 参照)

地点	水系	水域の詳細	備考
A	池尻川	逸出防止装置施設 下流	
B	御小屋用水	同上	野尻土地改良区 所管
C	小丸山用水	同上	同上
D	池尻川	赤川合流点 上流	北信漁協 管内
E	池尻川	関川合流点 上流	北信漁協 管内
F	関川	池尻川合流点 付近	関川水系漁協管内
G	関川	国道 18 号の橋 付近	関川水系漁協管内
H	関川	池尻川発電所調整池からの 流出水合流点	関川水系漁協管内

4 調査方法

採捕には電気ショッカーを用いた。パルス、電圧は調査水域の状況によって適宜調整し、特に稚魚の採捕に留意して調査を行った。

5 調査機関

(1) 第 1 回目調査

調査地点 A から C の調査は北信漁業協同組合 1 名及び野尻湖漁業協同組合 1 名の立ち会い、調査地点 D 及び E の調査は北信漁業協同組合 1 名立ち合いのもと、長野県水産試験場 2 名及び長野県内水面漁場管理委員会事務局 (長野県農政部園芸畜産課水産係) 1 名で行った。

平成 28 年度の調査から新潟県側の調査地点 F、G 及び H については、関川水系漁業協同組合との協議の結果、原則的に秋季 (10 月) の調査のみとすることとした。しかし、平成 29 年 1～2 月に約 1 か月間、東北電力の管理上の事情により野尻湖直下の池尻川に設置してある逸出防止装置が開放されたことから、平成 29 年度の夏季 (8 月) も調査を行うこととしていた。(注: 当該装置が再設置された後の平成 29 年 3 月に調査を実施したが、

外来魚の逸出は認められなかった。)

ところが、調査を予定していた8月下旬の関川は、今夏の悪天候と上流で行われていた工事等による増水と濁りのため、調査は見送らざるを得ない状況だった。その結果、1回目調査は長野県側の調査地点A、B、C、D及びEで実施した。

(2) 第2回目調査

調査地点AからCの調査は北信漁業協同組合1名及び野尻湖漁業協同組合1名の立ち会い、調査地点D及びEの調査は北信漁業協同組合1名立ち合いのもと、長野県水産試験場2名及び長野県内水面漁場管理委員会事務局（長野県農政部園芸畜産課水産係）1名で行った。なお、御小屋用水及び小丸山用水は当該期間は取水を行っておらず水がなかったため調査はしなかった。ただし、御小屋用水の監視場所3にある集水柵は水が溜まっていたため調査を実施した。

調査地点FからHの調査は関川水系漁業協同組合2名の立ち会いのもと新潟県農林水産部水産課1名、内水面水産試験場1名、長野県水産試験場2名及び長野県内水面漁場管理委員会事務局（長野県農政部園芸畜産課水産係）1名で行った。

6 採捕状況

A：池尻川（逸出防止装置施設 装置1と装置2の間 監視場所1）

魚種	第1回目		第2回目		備考
	個体数	全長範囲 cm	個体数	全長範囲 cm	
ヨシノボリ	—		3	2.3~3.2	

A：池尻川（逸出防止装置施設 装置2と装置3の間 監視場所2）

魚種	第1回目		第2回目		備考
	個体数	全長範囲 cm	個体数	全長範囲 cm	
コイ	1	欠測	—		
ヨシノボリ	1	欠測	—		

A：池尻川（逸出防止装置施設 装置3下流 監視場所3）

魚種	第1回目		第2回目		備考
	個体数	全長範囲 cm	個体数	全長範囲 cm	
コイ	27	5.1~13.5	11	6.4~15.2	
フナ	5	4.2~4.8	1	6.7	
モツゴ	3	5.3~6.6	3	4.2~6.0	
アブラハヤ	4	4.1 ~ 4.7	6	5.5~7.4	
ドジョウ	37	4.9 ~11.8	—		
シマドジョウ	1	6.4	—		
スナヤツメ	2	12.9~15.6	3	13.0~14.7	
ヨシノボリ	1	5.0	2	3.2~3.8	

B：御小屋用水（逸出防止装置施設 装置1と装置2の間 監視場所1）

魚種	第1回目		第2回目		備考
	個体数	全長範囲 cm	個体数	全長範囲 cm	
フナ	1	16.7	水が無かったので調査せず		

B：御小屋用水（逸出防止装置施設 装置3下流 監視場所2）

魚種	第1回目		第2回目		備考
	個体数	全長範囲 cm	個体数	全長範囲 cm	
ヨシノボリ	8	2.3～2.3	水が無かったので調査せず		

B：御小屋用水（逸出防止装置施設 装置3下流 監視場所3）

魚種	第1回目		第2回目		備考
	個体数	全長範囲 cm	個体数	全長範囲 cm	
ヨシノボリ	—		42	2.7～4.9	排水枡の中

C：小丸山用水（逸出防止装置施設 装置1と装置2の間 監視場所1）

魚種	第1回目		第2回目		備考
	個体数	全長範囲 cm	個体数	全長範囲 cm	
ヨシノボリ	98	2.3～4.0	水が無かったので調査せず		

C：小丸山用水（逸出防止装置施設 装置3下流 監視場所3）

魚種	第1回目		第2回目		備考
	個体数	全長範囲 cm	個体数	全長範囲 cm	
コイ	4	20.0～50.0	—		

D：池尻川（赤川合流点 上流）

魚種	第1回目		第2回目		備考
	個体数	全長範囲 cm	個体数	全長範囲 cm	
コイ	4	5.9～8.7	17	5.5～11.6	
アブラハヤ	43	2.3～11.0	31	3.2～11.8	
モツゴ	2	3.3～7.7	—		
ドジョウ	4	7.2～15.5	—		
シマドジョウ	13	6.0～8.3	—		
ヨシノボリ	7	2.8～7.0	1	3.3	

E：池尻川（関川合流点 上流）

魚種	第1回目		第2回目		備考
	個体数	全長範囲 cm	個体数	全長範囲 cm	
ヤマメ	1	13.5	2	15.2～19.0	

F：関川（池尻川合流点 付近）

魚種	第1回目		第2回目		備考
	個体数	全長範囲 cm	個体数	全長範囲 cm	
イワナ	増水と濁りのため調査せず		6	15.2～33.8	
ヤマメ			2	14.8～15.3	

G：関川（国道18号の橋 付近）

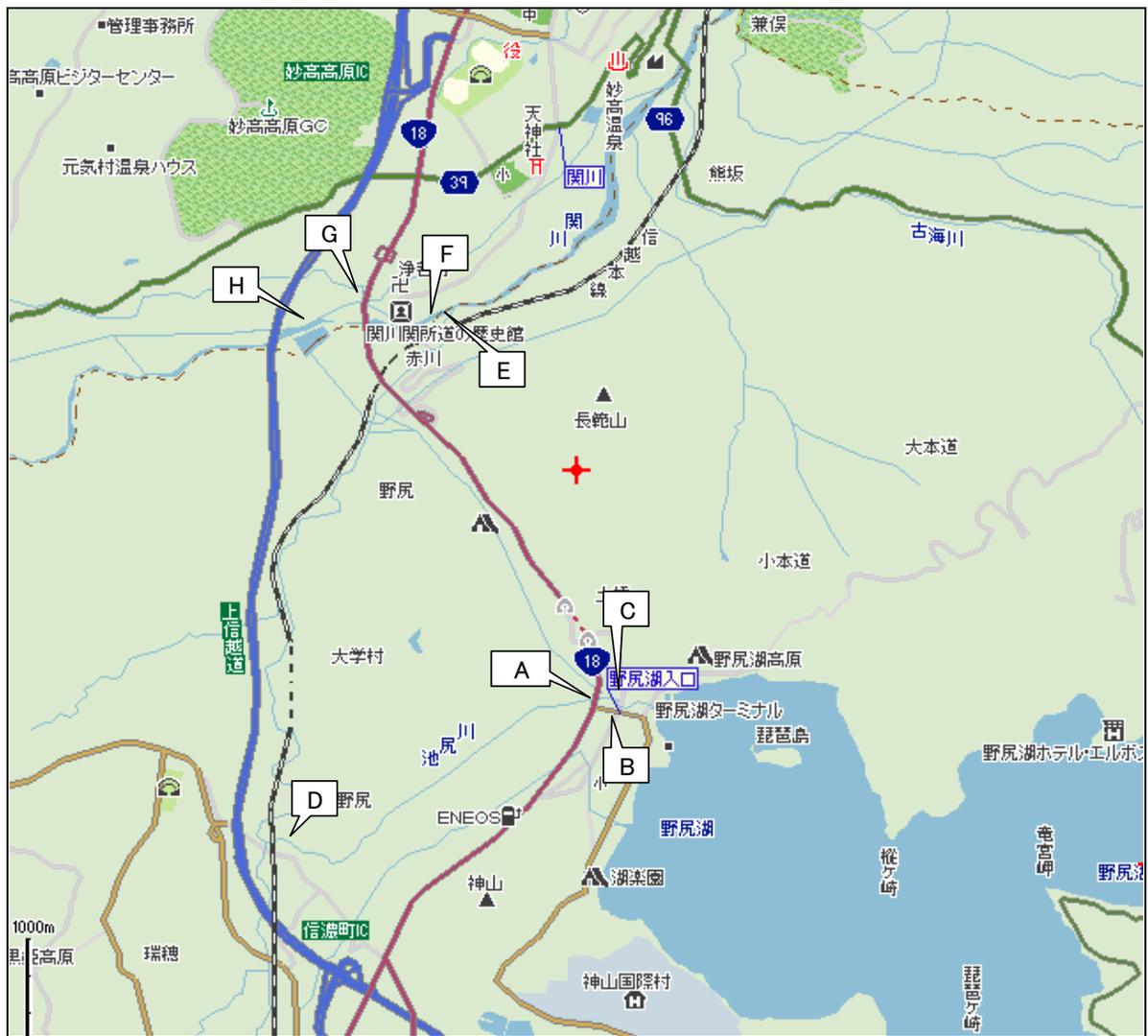
魚種	第1回目		第2回目		備考
	個体数	全長範囲 cm	個体数	全長範囲 cm	
イワナ	増水と濁りのため調査せず		7	12.7～28.5	

H：関川（池尻川発電所調整池からの流出水合流点）

第1回目は増水と濁りのため調査不能。第2回目は採捕なし。

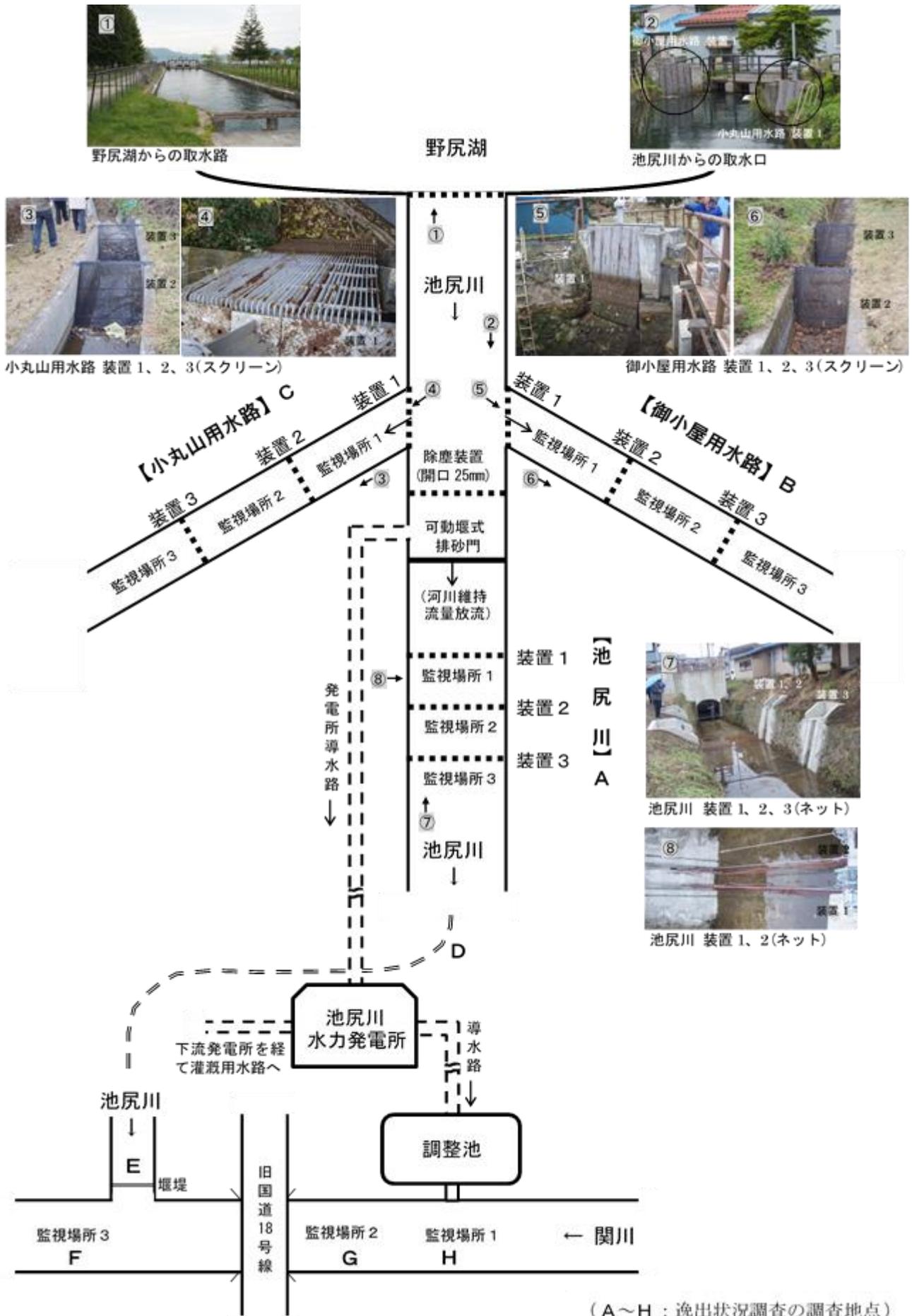
7 考察

今年度は第1回目及び第2回目の調査ともコクチバスはいずれの調査地点でも確認されなかった。



【図1 調査地点地図】

逸出防止施設等の概要



(A~H: 逸出状況調査の調査地点)